

山行報告書

作成: 2006年10月2日 愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	鋸岳(2685m)[南アルプス]	目的[方法]	岩場ガレ場歩行技術の確認
期間	2006年9月23・24日	形態	テント泊
参加人数	4人		

行動記録:

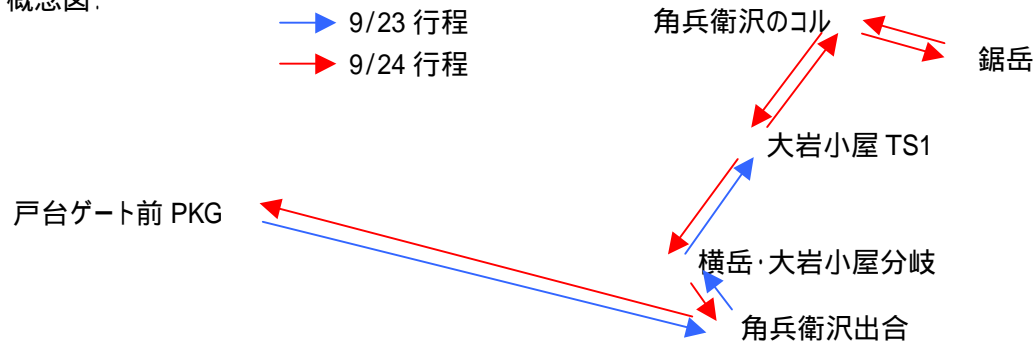
9/23(土) 晴れ時々曇り

岩津市民センター-PKG(645) == 豊田東 IC== 駒ヶ岳 SA==伊那 IC==戸台ゲート前 PKG (950,1015) -角兵衛沢出合 (1215,1245) -- 横岳・大岩小屋分岐 (1315) -- 大岩小屋 TS1(1500)

9/24(日) 快晴

起床(500) TS1(620) -- 角兵衛沢のコル(740,805) -- 鋸岳(820,910) -- 角兵衛沢のコル(925) - TS1(1020,1120) -- 角兵衛沢出合 (1250,1310) -- 戸台ゲート前 PKG (1505,1525)==温泉「仙流荘」(1540,1635)== 伊那 IC==飯田 IC== 蕎麦「おんびら飯店」(1800,1830)== 岩津市民センター-PKG(2030)

概念図:



日誌:

9/23 岡崎をほぼ予定通りに出発。伊那 IC で高速を降り、仙流荘までは快適な道进行、そこから 15 分ほど細い道进行。戸台ゲート前は川原にあり、30 台以上は駐車できるが、この日は 5、6 台だった。ゲートからは戸台川の右岸を歩き階段の付いた第 2 堰堤を越えると右手にケルンが見え、そこで完全に枯れてる川を左岸側へ渡る。角兵衛沢出合には鋸岳の案内板があり、ここで川を渡るが水量が少ないため靴を脱がずに済んだ。ここはテント 4、5 張りは可能。朝出発が遅い場合もしくは重い荷物を持って急登を上りたくない場合は、ここで宿泊しても良い。角兵衛沢は初め樹林帯を左方向にトラバース気味に進み、その後上に詰める。大きな岩が 2 つ続けて現れた少し上の 1700m 付近にケルンがある。そこを右方向に分かれる道に進めば歩きやすい樹林帯の道がテント場まで続いていたのだが、真っ直ぐ上がってしまったため 1800m 付近からはガレ場を歩くことになってしまった。2000m を越えた付近で前方に岩壁が現れ、岩壁を右方向にトラバースすると、岩壁の下がえぐれており、そこが大岩小屋のテント場。テント場は 4 人用が 2 張りはれる程度。テント場のすぐ横の岩壁からきれいな水が沁み出している。

9/24 テント場を出るとすぐにガレ場の急登。途中と終わりの方で真ん中付近を通るが基本的には右端の方を登る。ガレ場は、大きな石から細かい石まで場所によりまちまち。すべてガレ場通過ではなく、途中は樹林帯の中を通る。角兵衛沢のコルまで斜度はほとんど同じで、35 度以上ありそうに思える。角兵衛沢のコルからは、普通の急峻な登山道だが、右側がスッパリと切れ落ちているので慎重に登る。コルから 15 分ほどで、憧れの鋸岳山頂に到着。山頂からは、間近に甲斐駒ヶ岳、仙丈岳、北岳が見え、北アルプス、白山、頸城山塊、八ヶ岳の大展望が広がる。帰りは角兵衛沢の下りが落石が心配だったが、斜度の割には落石も留まり易くてそれほどでもない。ただし、ヘルメットは必携。ザイルは必要なかった。

(参考)今回、コース以外に、釜無川を上がってくるルートがあり、こちらの方が長いが簡単のようである。今回登ったルートは、ガレ場歩きになれていればそれほど難しくはないと思う。

感想:

200 名山の難関の山。ガレ場歩きは苦勞するが、頂上からは見事な大展望。ガレ場歩きに慣れていて、天気に恵まれれば登頂できます。皆様にもお勧めします。